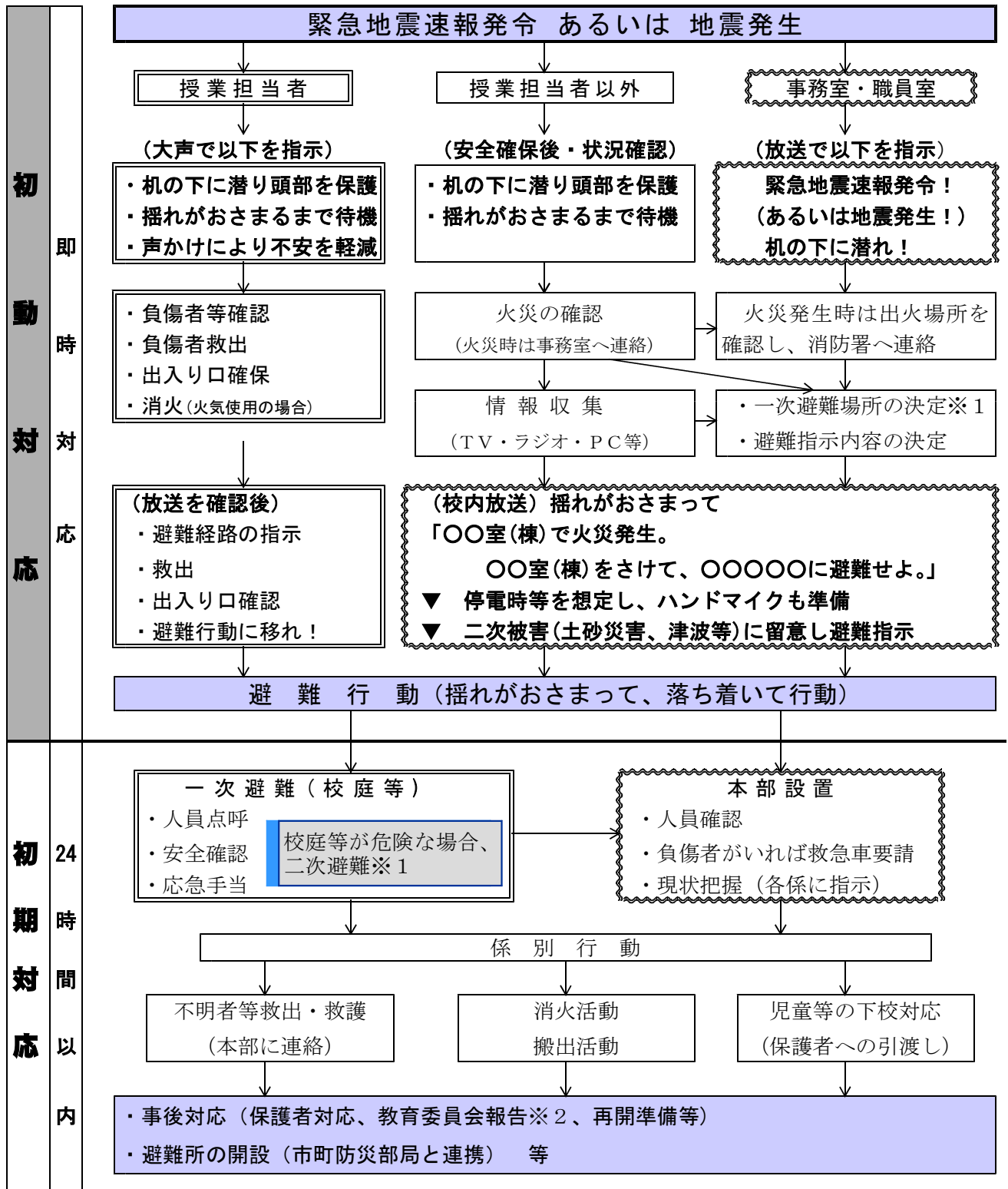


地震発生時の対応



留意点

※1 避難場所としては校庭等が一般的であるが、土砂災害や津波、火災の発生等、立地条件や予測される災害を考慮し、予め複数の避難場所を決めておき、状況に応じて児童生徒を安全な場所へ誘導する必要がある。

沿岸部の学校は地震発生時に津波被害を想定する必要がある。大きな揺れを感じた場合はすぐに高地へ避難するとともに、弱い地震であっても情報を元に適切に対応すること。

※2 報告事項としては、施設等の破損や児童生徒の怪我、臨時休校等の被害状況等がある。